

## 第5次行田市総合振興計画中間評価（指標達成状況）について

平成23年度から平成32年度までの10年間の計画期間とする第5次行田市総合振興計画では、8つの大綱を定め、これを基とした8つの章に様々な施策を位置付けています。

計画の進行管理にあたっては、計116種の指標を設定し、毎年度進捗を管理することとしており、各指標には、策定時の数値である「基準値」の他、「5年後目標値（平成27年度末値）」及び「10年後目標値（平成32年度末値）」を設定しています。章別の設定指標数は、表1のとおりです。

**[表1 章別の設定指標数]**

章	設定指標数	主な事業分野
第1章 やすらぎ	29	福祉、子育て、健康づくり、医療等
第2章 快適	21	道路、上下水道、公園、公共交通等
第3章 うるおい	7	ごみ処理、環境保全
第4章 にぎわい	16	観光、農業、商工業等
第5章 安心・安全	11	防災、防犯、交通安全、消防・救急等
第6章 はぐくみ	16	教育、生涯学習、スポーツ振興等
第7章 ふれあい	10	市民参画、人権、男女協働参画等
第8章 信頼	6	行財政運営、職員育成等
合計	116	

### 1 指標達成状況の整理について

各指標の達成状況は、これまでも毎年度終了後に市ホームページで公表してきましたが、平成27年度をもって前半の5年間の終了したことから、今回、「5年後目標値」の達成状況や今後5年間で取り組む施策等について、指標ごとに取りまとめを行いました。5年間の達成状況は、表2の評価基準に示すとおり、「達成」、「概ね達成」、「改善」、「やや改善」、「維持」、「悪化」の6段階で設定しました。

**[表2 評価基準]**

評価区分	基準
達成	5年後目標値を達成しているもの
概ね達成	5年後目標値達成割合が8割以上のもの
改善	5割以上8割未満のもの
やや改善	2割以上5割未満のもの
維持	基準値以上2割未満のもの
悪化	基準値から数値が悪化しているもの

## 2 全体評価結果について

計画に位置付けた116指標のうち、小中学校に関する3つの指標（指標 No.86～88）については、「小学校における数値」と「中学校における数値」に分けて集計しているため、合計119種の指標について、平成27年度末時点での達成状況をまとめた結果が表3となります。なお、119指標のうち38指標については、4年に一度実施する市民意識調査の結果を使用していることから、これらの指標においては、直近の実施年度である平成26年度の数値を使用して中間評価としています。

[表3 章別達成状況]

全指標数	中間評価結果					
	達成	概ね達成	改善	やや改善	維持	悪化
119	45	7	10	17	17	23
100.0%	38.8%	6.0%	8.6%	14.7%	14.7%	19.8%

119指標のうち、達成～やや改善までの計79指標（66.3%）については、基準値と比較して数値が改善しています。また、基準値を維持（微増を含む）した指標は計17指標（14.7%）、基準値から数値が悪化した指標は計23指標（19.8%）となっています。

## 3 章別の達成状況について

次に、指標の達成状況を章別にまとめた結果が表4となります。

[表4 章別達成状況詳細]

章	指標数	中間評価結果					
		達成	概ね達成	改善	やや改善	維持	悪化
第1章 やすらぎ	29	11	1	3	4	7	3
第2章 快適	21	7	1	3	4	2	4
第3章 うるおい	7	1	0	0	2	3	1
第4章 にぎわい	16	8	2	0	3	0	3
第5章 安心・安全	11	7	0	0	1	2	1
第6章 はぐくみ	19	7	2	1	1	2	6
第7章 ふれあい	10	2	0	2	2	0	4
第8章 信頼	6	2	1	1	0	1	1
合計	119	45	7	10	17	17	23
	—	38.8%	6.0%	8.6%	14.7%	14.7%	19.8%

評価区分のうち、「達成」～「やや改善」まで（表4中の太枠内）を「数値が向上した指標」と定義した場合に、章別に向上した指標の割合を算出すると、表5のとおりとなります。

[表5 章別向上割合]

章	指標数 (A)	向上した指標の数 (B)	向上率 (B/A)
第1章 やすらぎ	29	19	65.5%
第2章 快適	21	15	71.4%
第3章 うるおい	7	3	42.9%
第4章 にぎわい	16	13	81.3%
第5章 安心・安全	11	8	72.7%
第6章 はぐくみ	19	11	57.9%
第7章 ふれあい	10	6	60.0%
第8章 信頼	6	4	66.7%
合計	119	79	66.3%

向上率の高い章から順に「にぎわい（観光・商業・農業）」、「安心・安全（防災防犯・消防）」、「快適（交通・都市基盤）」で、いずれも70%を超える向上率となっています。平成23年度以降、映画「のぼうの城」公開等に伴い増加した観光客を受け入れる体制を整えるとともに、各種イベントの充実を図ったこと、東日本大震災以降、特に地域での防災体制を強化する取組みを推進したこと、南大通線開通に伴い利便性の高い新たな循環バス路線を設定したことや、生活道路の整備を着実に進めてきたことなど、目に見える形で施策の効果が表れたことで満足度が向上し、指標値の改善に繋がったものと考えられます。一方で、「うるおい（環境）」については、悪化した指標は少なかったものの、「維持」の指標が多かったことから、40%台と低い向上率となっており、他の章では50%代後半～60%台となっています。今後、後半の5年間で各分野の取組みを充実し、10年後目標値の達成を目指します。

#### 4 後期（平成28年度～平成32年度）の取組みについて

後期の5年間についても、引き続き総合振興計画や、各分野の基本計画、実施計画等に基づいて計画的に事業に取り組みます。また、総合振興計画の実施計画である「行財政3ヵ年実施計画」においては、今回の中間評価結果を反映しつつ、編成毎年度ローリングでその内容を適宜見直し、事業の実効性を担保します。なお、各指標に関係する今後の取組み内容は、個別の各評価シートを参照してください。

#### 5 「10年後目標値」を達成した指標の取扱い

「10年後目標値」は、第5次総合振興計画の最終年度である平成32年度末の目標値ですが、施策の効果や、法改正による制度変更などの外的要因等にもより、計17指標で既に達成済みとなっています。このような指標については、現時点の数値と今後の展望を踏まえ、新たな「10年後目標値」を表6のとおり設定しました。今後は、この新たな目標に向けて各施策に取り組みます。

[表6 変更後の10年後目標値]

変更

指標 NO.	指標名	策定時 数値	5年後 (H27) 目標値	10年後 (H32) 目標値	H27年度 末値	変更後 10年後 目標値
1	健康教室への参加者数(人)	2,979	4,000	5,000	5,858	6,000
12	介護予防事業への参加者数 (人)	555	1,000	1,500	5,359	6,100
16	子育て支援センターの利用者 数(人)	14,794	16,500	18,500	33,832	35,000
27	国民健康保険税収納率(%)	85.8	88.0	91.0	91.6	93.0
33	今後整備する幹線道路(市道) の延長(km)	79.6	81.6	83.6	83.6	85.6
38	循環バスの利用者数(人)	81,050	160,000	240,000	244,723	270,000
59	観光協会ホームページへのア クセス件数(件)	—	100,000	200,000	429,756	860,000
64	ブランド化推進品目数(件)	0	2	3	3	4
66	起業家支援助成店舗数(件)	17	37	57	69	100
73	労働関係セミナー等受講者数 (人)	44	66	88	94	110
77	自主防災組織の組織率(%)	24.6	65.0	85.0	98.4	100.0
82	救急救命士数(人)	15	22	24	26	27
87	新体力テストで県平均を上回 る種目数(中学校)(種目)	25/48	30/48	35/48	36/48	37/48
93	生涯学習講座の参加者数(人)	24,852	26,000	27,500	27,509	28,500
100	高等教育機関での体験教室・ 市民講座について満足 している参加者の割合(%)	—	50.0	60.0	98.9	100.0
103	市ホームページのアクセス件 数(件)	637,000	660,000	700,000	902,874	970,000
111	市税収納率(%)	90.5	92.0	93.0	96.3	97.0